

消棒®RESCUE の「噴射口」シールの位置の変更について

消棒®RESCUE は、消防法令上の「エアゾール式簡易消火具」として二酸化炭素（CO₂）を用いて消火を行う機能を有していますが、CO₂噴射口に貼付されているシールについて、お客様から「消火の際シールをはがすのか」、「噴射口が見えないのでわからない」といったご指摘があることを踏まえ、同シールの貼付位置を噴射口の上部に変更することとしました（下図参照）。

これにより噴射口シールの下の噴射口が目視で確認できるようになります。

なお、以下の点にご留意願います。

- ① 噴射口に異物を入れたり、埋めたりしないこと。 CO₂ 噴射を妨げるおそれがあります。
- ② 消火の際には、安全ピンを外した上で製品上部を強く叩きますが、叩き方が弱いと CO₂ 噴出が弱くなり十分な消火能力が発揮できない可能性があります。ためらわずに強く叩いてください。 手のひらの中央下部で叩くと強く叩くことができます。

※従来品（噴射口にシールが貼付されている製品）に関して

- ◆噴射シール位置の変更による性能、品質への影響はございません。
- ◆噴射の勢いで噴射口シールが吹き飛ぶ構造になっておりますので使用時は噴射口シールを剥がす必要はございません。

